

Share KASA

代表者 綿重早織（理学B 3年）

1. プロジェクトの目的

山口大学内での傘の盗難の抑止、突然の雨で困っている学生らなどの学生生活の向上を目的とする。

現在、唯一傘の無料貸し出しを学内でしている大学図書館で傘の返却率について聞いてみたところ、貸した傘は1割も返ってこないとのこと。このことから貸した傘がより高い割合で返ってくるような仕組み作りも行いたいと考える。

また全国的にもあまり成功している例がないシェア傘の調査・実施を行うことで山口大学のみならず幅広い人々の役に立つシェア傘のモデルケースがどのような形であるかを模索し、追究する。

2. プロジェクトの概要

山口大学内の主要な箇所（学部棟、共通教育等、学食、図書館等）で自由に借りられて返せるシェア傘の運用をする。校内の数箇所でシェア傘をすることとオリジナルの傘を作り、シェア傘専用の傘であることを明確にすることで返却率の高いシェア傘を目指す。

3. 活動内容

- (1) 山口大学のロゴが大きく入った目立つ傘を作成(オリジナル傘が作れるネットサービスを利用する)
- (2) 山口大学内の主要場所(図書館、共通教育棟玄関など)の傘立てに①を置かせもらえるように交渉し、設置する。傘立てがない場所には傘立ての設置を行う。
- (3) ポスターなどによりシェア傘の告知
シェア傘の主な利用方法…指定された場所(複数箇所)で傘を自由に借り、指定された場所(最初に借りた場所じゃなくてもOK)で傘を返す。
- (4) 傘が利用されたら定期的に傘の場所が偏らないように傘を分配、足りなければ補充
- (5) 1～4の仕組みを1か月間続け、まずは共通教育棟、図書館、理学部棟、ボートの4か所でそれぞれに5本ずつ設置。計30本の消失まで実施し、利用率と返却率を調査する。

4. 本文について

現在は活動内容の(1)(2)の途中まで取り組むことができた。

4-1 オリジナル傘の制作について

現在オリジナル傘50本制作し、業者からの納品待ちである。

Share KASA という文字と山口大学のものであるということを明記し、返却率がなるべく高くなるように工夫した。また、オリジナルのマークを取り入れ、多くの人に利用しやすいようなデザインになることにも配慮した。



オリジナル傘イメージ図

4-2 山口大学内の主要場所への交渉

現在は理学部と交渉中である。

5. 今後の活動予定

傘が下旬に届く予定であるため、12月1日から Share KASA をスタートさせる予定である。そのため、10、11月中に傘の設置場所との交渉を行い、設置許可を得ることを目指す。Share KASA がスタートした後は運用と告知に力を入れる予定である。